

2016年度(平成28年度)事業報告書

2016年(平成28年)4月1日から2017年(平成29年)3月31日まで

認定特定非営利活動法人東京都日本中国友好協会

はじめに

認定NPO法人東京都日中友好協会は、「日中不再戦」、「交流なければ友好なし」をモットーに東京都と北京市の友好都市提携のもと、草の根の交流を通じて日中友好交流活動を発展させるよう努力してまいりました。

国際都市提携の理念は、様々な分野での市民交流こそが両都市の相互理解と友好を進展させ、平和につながるとされています。

2016年8月、小池百合子都知事が圧倒的な都民の支持を受けて誕生しました。小池知事は、東京都と北京市の自治体レベルの様々な交流は、日本と中国の戦略的互惠関係を健全な形で発展させていく上で大変重要であると述べております。

同年11月、宇都宮徳一郎会長を団長に北京市人民対外友好協会成立35周年祝賀記念訪中団は北京市を訪問し、北京東京民間交流写真展開会式に出席したのち、北京市対友協との間で2017年の友好交流に関する7項目にわたる覚書を調印しました。両協会は、この年が日中国交正常化45周年であることを最大限に活かして引き続き文化・スポーツ・教育・青少年など伝統的交流活動を活発化すると同時に新しい分野での交流を積極的かつ効果的に進め、中日両国世代友好の後継者を育成することに合意しました。合意事項はすべて45周年記念事業といたしました。

同年12月、友利春久東京都議会日中友好議員連盟会長を団長とする東京都日中友好議員訪中団(26名 都議4名 特別区議員8区20名 随員2名)は、中国大使館の招請により北京・上海を訪問しました。北京滞在中、中日友好交流会に臨み東京都及び特別区の友好都市(区)の幹部が一堂に会し、日中友好交流事業の実施状況と成果について熱心に意見の交換がなされました。

2017年3月11日、東京都日中友好協会による45周年記念事業のキックオフイベントとして、中国大使館ほかの協力により、午前は日中のランナーによる「皇居マラソン」(103名参加) 午後は孫文生誕150周年にちなんで、講師に小坂文乃氏(梅谷庄吉のひ孫)をお招きして講演会「孫文と梅谷庄吉」を開催しました。(55名参加)

2017年3月31日、東京日中友好議員連盟協議会が設立されました。都議会会議室で開催された協議会設立会議には前年12月に訪中した都議及び特別区議員を含め40名が参加されたほか来賓として中国大使館大使夫人で友好交流部参事官汪婉様、宇都宮会長が祝辞を述べました。汪婉参事官は協議会の設立により、行政・議会・民間の三位一体の連携がさらに強まるとして高く評価され、中国大使館はさまざまな連携・協力をいたしたいと強調いたしました。また北京市人民対外友好協会常務副会長田雁様から祝電が寄せられました。協議会の設立目的は次のとおりです。

「本会は東京都・都内区市町村議会が培ってきた東京都と北京市との相互友好関係を一層深め、両都市の発展と両国の親善の増進に資するため、東京都・北京市友好都市提携並びに区市町村友好都市提携の趣旨に基づき日中両国民の相互理解と友好交流を促進することを目的とする。」会議閉会にあたり、初代会長に選任された友利会長は、都道府県自治体で初めてのこのような協議会が設置され、画期的な一つのモデルとなり他の日中友好関係自治体に広がれば幸いと述べられました。

当協会にとっても、新たな地区協会設置が求められていますが、協議会と強く連携して協会組織の広がりははかってまいります。

1 事業の成果

組織の強化・財政の健全化に向けて

2016年度は、「認定NPO法人」2年目の年を迎えました。当協会への寄付は、確定申告で寄付金控除を受けられ、所得税などが軽減されるようになりました。この制度を活用して当協会の財政改善と持続的な組織安定基盤の確立に向け、会員をはじめ一般の市民、企業にご理解とご支援を仰ぎながら、役職員一同熱心に取り組んでまいりました。さらに各事業の取り組みにあたりましては、財政強化事業が皆様の協力で展開されてまいりました。

おかげさまで昨年から2カ年続いて黒字決算となりました。これもひとえにご協力いただいた多数の会員・市民・法人の皆様の皆様のご支援とご協力のおかげと厚く御礼申し上げます。

2017年度においても、組織・財政委員会等を中心に持続的協会運営を目指して、会員の皆様のご協力を得てバランスの取れた健全な事業を進めてまいります。

組織・財政委員会（合同会議の実施）に加えて各委員会及び地区協会との密接な連携のもと組織拡大・財政強化事業を開催することとします。その一環として東京―北京の友好都市提携発展に興味・関心を持つ外部人材を特任顧問及び日中友好青年大使に委嘱することとしました。特に青年委員会事業を通じては、東京・北京、日中両国世代友好の後継者育成が求められています。また、先に設立された東京日中友好議員連盟協議会と連携して、地区協会の新設に努めます。特に、協議会加盟議員の日中友好活動の経験とリーダーシップに期待いたします。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関する事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費金額(千円)
東京都―北京市友好都市提携の発展に関する事業 ① 市民交流・訪中団	2016年度市民交流訪中団は、北京市人民対外友好協会の招請で11月3日から8日まで中国を友好訪問した。宇都宮会長を総団長に総勢33人は、北京滞在中に「2017年度友好交流に関する覚書」調印式及び交流晚餐会、「北京・東京民間交流写真展」開幕式に参加した。	2016年11月3日～8日	Aコース 北京17人 Bコース 北京 福建省8人 現地参加1人 Cコース 北京 東北7人	役員10人 事務局1人	一般市民 33人	536
② 北京市青少年キャラバン訪日団	北京市青少年キャラバン訪日団37人（海淀区北京師範大学第3附属中学の中高生33人、引率4人）盧燕寧団長と共に7月13日に来日。14日は友好交流区の練馬区を表敬訪問、大泉中学校にて給食を共にし、両国の合唱を通じて交流を深めた。夜は都庁レストランで歓迎会に臨み、懇親会後大江戸ダンス、日本舞踊を楽しみ中国側からは合唱が披露され盛大な歓迎会となった。15日以降は都内散策、横浜中華街、箱根、京都、大阪を巡って18日無事に帰国した。	2016年7月13日～18日	東京・箱根・京都・大阪	役員10人 事務局2人	北京側37人 一般市民70人 合計107人	316
③ 北京市青少年アニメ交流訪日団	中国側の事情から本年は派遣中止となった。	—	—	—	—	—
④ 東京都日中友好議員代表訪中団	友利春久 都議会日中友好議員連盟会長を団長とする東京都日中友好議員連盟訪中団は都議4名、特別区議会8区20名、随員2名は中国大使館の招聘により北京、上海を訪問した。都及び特別区の友好都市の幹部が一堂に会し、友好交流事業の成果等について確認してより一層の友情を深めた。	2016年12月18日～21日	北京・上海	役員1人 事務局1人	北京側100人 議員・市民28人	2,261

⑤北京市民ランナー青梅マラソン訪日団	11回目の北京市民第51回青梅マラソンは、呂奕団長（選手2人、引率3人）と共に2月17日来日。19日30km、10kmそれぞれ自己新記録で完走した。20日歓迎会では随行の李維建氏が来年の抱負を語り、21日無事に帰国した。	2017年2月17日～21日	東京青梅市他	役員5人 事務局2人	北京側5人 一般市民15人	354
⑥経済交流中小企業視察団	北京青年企業家訪日団は、王報換団長始め8名（内6名の青年企業家）は5月28日来日した。29日新橋亭で歓迎会が催されました。30日～31日は大田市場、大田区長表敬訪問、小松ばね工場テクノFront、老人ホーム「ケアアメディカルホーム千鳥町」などを視察され、6月1日無事に帰国した。	2016年5月28日～6月1日	東京大田区	役員5人 事務局2人	北京側8人	291
⑦北京市石景山区政府代表団	北京市石景山区政府代表団は、岳徳順団長始め5名は4月12日来日して、都日中友好協会を表敬訪問して、2014年市民訪中団時の石景山区訪問での市民交流の対応に謝意を表し友好区板橋区・墨田区含めた民間交流を深めていくことを約束した。	2016年4月12日	東京	役員3人 事務局1人	北京側5人	—
⑧北京市政府代表団	李輝団長始め5名は10月11日来日した。12日は都庁、中国大使館をそれぞれ表敬訪問し、13日は東京都特別区長会、都日中友好協会を訪問して、夜、中国大使館主催「錦秋交流の夕べ」に参加し、14日帰国した。	2016年10月11日～14日	東京	役員5人 事務局1人	北京側5人	—
⑨青年・女性及び北京市環境問題など具体的な目的を持った訪日団	北京養老交流訪日団は、王智玲団長始め5名は10月17日来日し、17日～18日は大阪府日中友好協会の表敬訪問及び養老施設を視察、19日は都庁レストランにて歓迎交流会に臨んだ。20日は渋谷区を表敬訪問して、都内養老施設を視察して、専門的な討議を重ねて21日無事に帰国した。	2016年10月17日～21日	大阪 東京	役員12人 事務局1人	北京側10人 一般市民10人	173

	・北京市婦女連合会訪日団一行4名は10月28日に来日。歓迎会を都庁都議会議事堂レストランで行った。29日には豊島区社会福祉事業団の「上池袋豊寿園」を視察し意見交換を行った。その後「婦人之友社」を訪問し、日本の女性の抱える課題等について懇談を行った。	2016年10月28日～31日	東京都内	役員5人 事務局1人	北京側4人 一般市民18人	338
⑩友好都市提携に協力支援する法人会員の拡大事業 ⑪友好都市提携発展に資する外部人材獲得事業 ⑫友好都市提携に発展支援する寄付金募集事業	法人会員15社が14社に減少 「特任顧問」「日中友好青年大使」設置を検討する 全会員に活動賛助金募集を依頼する	2016年4月～2017年3月	東京都内	役員88人 事務局2人	都内法人20団体 及び個人50人	—
⑬ボランティア宅本便事業	7月～3月まで不要になった古本、DVD、CDなどをブックオフの「ボランティア宅本便」事業に売却して、代金を寄付金として協会に納入することをを行った。	随時	東京	役員2人 事務局2人	都内在住個人5人	0
⑭北京市高齢者施設へのカレンダー贈呈事業	12月～1月にかけて、日本の風景カレンダーを集めて北京市の高齢者施設へ贈る事業を行い、会員の皆様そして、大手企業から100本以上のカレンダーを寄付いただき、北京市対外友好協会に送りました。	2016年11月～12月	東京	常務理事以上46人 事務局1人	北京市高齢者100人	23
⑮太極柔力球の普及・発展指導者講習会普及講習会 (一社)日本太極柔力球協会主催 (中国大使館後援・協賛事業)	北京から中国国家著名教職員 王 学軍講師を招聘して(一社)日本太極柔力球協会が行う中国生まれのニュースポーツの国内での普及・振興を図るために実施される指導者養成講習会・普及講習会を11月、3月後援した。	2016年11月28日～30日 2017年3月29日～31日	国立オリンピック青少年総合センター 中央区立総合スポーツセンター	役員5人 事務局1人	各回40人	—

<p>II 中国事情と文化の研究及び紹介に関する事業</p> <p>① 共同講座「中国問題を読み解く」(孔子学院との共催)</p>	<p>工学院大学孔子学院と共同で公開講座を開催した。中国及び日中関係をあらゆる視点から観察分析し、今後の中国と日中関係の在り方を考察した。各講座のテーマは「全人代から見た中国経済の実態と展望」「若い翻訳者が触れてみた中国」「渡り鳥のための生態環境保全に取り組む二人の上海人」「日中両国人は《似て非なるもの》」「最新中国政治・経済情勢」でした。</p>	<p>5回 開講 4/20 5/18 7/20 10/19 11/16</p>	<p>工学院大学 新宿キャンパス 孔子学院</p>	<p>役員5人 事務局1人</p>	<p>一般市民 延べ150人</p>	<p>—</p>
<p>② 日中関係シンポジウム(孔子学院、日中未来の会「人民中国」東京支局との共催)</p>	<p>都日中と工学院大学孔子学院等諸団体と共催で第4回(孔子学院、日中未来の会「人民中国」東京支局との共催)間交流のさらなる発展を目指して」をテーマに開催した。 主催者挨拶は西園寺一晃孔子学院長が行い、第1部基調発言は李春利 愛知大学教授、第2部パネルディスカッションでは、日本側・中国側各2名の専門家発言を受けて、聞きごたえのあるディスカッションを展開。最後にコーディネートの横堀克己氏(日本未来の会代表)がまとめの発言をされ、閉会となった。</p>	<p>2016年 12月10日</p>	<p>工学院大学 新宿キャンパス 孔子学院</p>	<p>役員3人 事務局1人</p>	<p>一般市民 80人</p>	<p>—</p>
<p>③ 中国問題講演会</p>	<p>(独法) 科学技術振興機構(JST)中国総合研究交流センターとの連携事業として、汪婉駐日中国大使館参事官講演会「経済・文化・人的往来での日中関係は成果あるのに信頼関係がつかれないのか」と青年委員会伊藤理事、中村理事との対談を行った。</p>	<p>2016年 10月21日</p>	<p>(独法) 科学技術振興機構(JST) 東京本部</p>	<p>役員 10人 事務局 2人</p>	<p>一般市民 80人</p>	<p>—</p>
<p>④ 日中友好協会女性友好交流史作成</p>	<p>女性部会では2015年が協会65年記念として、日中友好協会女性友好交流の軌跡を作成するべく1年がかりで2016年6月に古島琴子理事を中心に完成させた。</p>	<p>2016年6月</p>	<p>東京</p>	<p>役員3人</p>	<p>一般市民 10人</p>	<p>—</p>

⑤中国大使館での中国映画を鑑賞する会	中国語普及委員会主催で7月21日に中国語映画「梅蘭芳」の鑑賞会を中国大使館にて行った。参加者は108人でした。	2016年7月21日	中国大使館	役員16人 事務局2人	一般市民 100人	6
⑥2017年日中女性新春の集い	春節を祝い、日中の女性が友好交流に努めることを目的に毎年恒例行事となっている。中国大使館から、王広報部一等書記官、張友好交流部書記官の参加を得て、楽しい交流を行うことができた。参加者も多彩な顔触れで、情報交換などを行った。特に中学1年生の本田ゆとり君の二胡の演奏は素晴らしいものであり、新春を飾るにふさわしいものであった。	2017年2月4日	新橋亭	役員11人 事務局2人	一般市民 35人	—
7研究者による中国の今を知る講座の開催	中国の民族、宗教、歴史などについて研究者や実践活動などを行っている講師を招き勉強会を開催検討したが実施しなかった。	—	—	—	—	—
⑧連続講座 (教職員部会)	中国事情と文化の研究及び紹介のための連続講座は教職員部会解散により実施しなかった。	—	—	—	—	—
Ⅲ 日本事情と文化の中国への紹介に関する事業 ①国際交流みこしを担ぐ会への協力	日本の伝統文化を紹介する取り組みとして、豊島区池袋で行われる「ふくろ祭り」で国際交流のおみこしを担ぐ会に豊島区日中とのコラボで参加し、日本の伝統的なお祭りを楽しんだ。	2016年 9月25日	豊島区 勤労福祉会館 JR池袋駅 西口広場	役員10人	一般市民・ 在日留学生 他外国人 200人	—
②お花見ウォーキング	中止	—	—	—	—	—
③施設見学会・訪問	・日本事情と文化を紹介する事業として日本を代表する会社の施設である東京ガス横浜ショールームと日清食品カップヌードルミュージアムを見学した。	2016年 5月22日	東京ガス 日清食品	役員9人 事務局1人	一般市民 10人	0

	・女性部会として例年行っている施設見学の一環として「水戸黄門ゆかりの名園」小石川後楽園の散策を在日華人女性交流会 姜春姫さん、渋谷観光協会 揚陽さんの中国の方も参加して楽しんだ。	2016年 12月7日	小石川後楽園	役員2名	一般市民 12名	0
IV 機関紙(日本と中国)の発行など、広報活動事業 ①本部機関紙購入	(公社)日本中国友好協会発行の機関紙「日本と中国」を購入し会員・都民に情報提供した。	2016年4月 ～17年3月 まで 月1回 発行	東京都	事務局 1人	一般市民・ 在日外国人 1,000人	936
②東京版制作等	東京都日中友好協会の活動を会員・都民に紹介するため、機関紙「日本と中国(東京版)」を発行した。 6月・1月年2回従来と同じ形式で発行 7月9月11月3月には、リニューアル版を発行した。	従来版 2回発行 (6/1月号) リニューアル版 4回発行 (7/9/11/3月号)	東京都	役員10人 事務局 1人	一般市民・ 在日外国人 1,000人	392
③機関紙発送	機関紙を会員・都民に発送した。	月1回	東京都	事務局 1人	一般市民・ 在日外国人 1,000人	550
④ホームページ制作・配信	都日中のホームページの内容を充実し、協会の活動を広く一般の人々に提供した。また、SNS時代に対応するべく事業案内等をfacebook等を利用して一般市民等に案内した。	制作・配信 (常時)	東京都	広報委員 6人 事務局 1人	一般市民・ 在日外国人 月平均	0
政治、経済、文化、教育、スポーツなど各分野にわたる交流促進事業 ①日中友好新年会	当協会と(公社)日中友好協会共催で毎年恒例の「日中友好新年会」を開催した。 滝沢求外務政務官、金杉憲治外務省アジア大洋州局長、程永華・駐日中国大使、汪婉駐日友好交流部参事官、江田五月日中友好会館会長ら国会議員など日中の各界関係者250人が出席し、日中の民間交流推進への決意を新たにした。都からは水越英明東京都外務長が出席。主催者挨拶、来賓あいさつの後、和やかな懇談がされた。	2017年 1月24日	如水会館 スターホール	役員 事務局	一般市民・在 日外国人 各界から 250人	0

<p>②アジアの祭典チャリティバザーへの協力</p>	<p>アジア婦人友好協会主催の「第40回アジアの祭典チャリティバザー」に中国大使館に協力して日中友好事業の推進を図ると共に、アジア太平洋諸国における福祉、教育、災害救援のための資金集めに貢献した。</p>	<p>2016年 4月6日</p>	<p>東京 全日空ホテル</p>	<p>役員・女性部会 10人</p>	<p>一般市民・在日外国人 26か国の大使館・300余団体参加</p>	<p>—</p>
<p>③日中友好スポーツ交流会</p>	<p>北区日中との共催。会場には日中両国の国旗が飾られた他「友誼第一、勝敗第二」のスローガンも掲げられた。開会式は宇都宮会長が挨拶され、「北区さくら体操」準備体操の後、スポーツ交流を開始。両国参加者は、バレーボール、卓球、バトミントン、太極柔力球など両国民共通のスポーツを1日中、楽しみ友好の汗を流して交流を深めた。</p>	<p>2016年 4月17日</p>	<p>北区 滝野川体育館</p>	<p>役員5人 事務局2人</p>	<p>一般市民・在日外国人 105人</p>	<p>—</p>
<p>④皇居マラソン大会、孫文と梅屋庄吉講演会</p>	<p>国交正常化45周年事業キックオフとして、日中友好マラソン大会が晴天の中、皇居で行われ、健脚を楽しんだ。(一周、二周コース) 又、午後は会場を移動して日比谷公園内で松本楼副社長 小坂文乃氏(梅屋庄吉のひ孫)を講師として招聘し、孫文を支えた梅屋庄吉氏の功績の話に出席者大変満足で帰路に着いた。中国大使館からも両行事に邵一等書記官始め参加された。</p>	<p>2017年3月11日</p>	<p>東京・皇居 日比谷公園</p>	<p>役員15名 事務局2名</p>	<p>一般市民 160名</p>	<p>511</p>
<p>⑤第19回日中友好囲碁交流大会 (中国大使館後援・協賛事業)</p>	<p>中国大使館杯争奪第19回東京都日中友好囲碁交流大会(日中対抗)を中国大使館の後援を受けて開催した。本年は、来賓として中国大使館王連峰一等書記官、李青海中国囲碁協会棋士七段らが紹介され、エキシビジョンマッチも行われた。中国チーム(40勝35敗)が優勝して、2年連続、中国大使館杯が授与された。第2部として懇親会が70名の参加者にて行われ、囲碁を通して日中双方の親睦・友好を深めた。</p>	<p>2016年 11月19日</p>	<p>日本棋院</p>	<p>役員9人 事務局1人</p>	<p>一般市民・在日外国人 日本人35名 中国人30名</p>	<p>376</p>

<p>⑥「第3回日中友好春季セミナー東京」の開催 (中国大使館後援・協賛事業)</p>	<p>「第3回日中友好春季セミナー東京」は、中国大使館と都日中を中心とした若者同士の親睦と交流を深める目的で開催。本セミナーの主な内容は、中国大使館 汪婉参事官の講演は「日中友好は若い世代への継承が重要」と話され、参加者は6グループに分かれ、日中関係の現状認識、そして各自ができる事等について議論し、グループごとにまとめ、「交流を通じて青年層の議論の場づくりが大事と」翌日発表会を行った。</p>	<p>2016年6月18日～19日</p>	<p>群馬県伊香保</p>	<p>役員7人 事務局1人</p>	<p>中国大使館 20人 都日中一般市民 20代、30代の若者 30名</p>	<p>1.695</p>
<p>⑨中国大使館「2016年錦秋交流の夕べ」への参加・協力</p>	<p>第3回「錦秋交流の夕べ」(中国大使館主催)は、日中友好促進のため行政、議会、日中友好協会の各団体に広く呼び掛け中国大使館での親善交流の場を提供されたものである。都日中はこの趣旨に賛同し、民間の立場から都内各地区の日中友好議連、各地区役員の参加を募り協力した。当日は安藤都副知事、各区長、都区議会議長を始め大勢の日中友好を願う人々が参集した。北京市人民政府訪日団6名も来席され、程大使、汪婉大使夫人・友好交流部参事官、大使館員総出のおもてなし・心づくしの歓迎を受け大盛況裡に宴を終了した。</p>	<p>2016年10月13日</p>	<p>中国大使館港区元麻布</p>	<p>役員15人 事務局1人</p>	<p>一般市民 在日外国人 300人</p>	<p>5</p>
<p>②第14回「見に行く、会いに行く」中国の旅 会員訪中団</p>	<p>中国の事情、歴史、文化を理解するための会員訪中団。北京市での市民交流企画は、婦人之友社と都日中で行う。本年は自由学園北京生活学校開学78年を迎え、新しい友となる北京市民も交え懇親を深める家庭生活(テーマは家庭での手仕事)座談会を開催し和やかな交流を行った。その後、瀋陽、大連、旅順を訪問し、清王朝の歴史見聞、大連港、旧関東軍本部、日清、日露の旅順攻防戦跡、二〇三高地などを訪ねました。大いに中国見聞を広げました。</p>	<p>2016年9月7日～12日 5泊6日</p>	<p>北京・瀋陽・大連</p>	<p>役員1人</p>	<p>一般市民 9人</p>	<p>0</p>

③「第7回東京都囲碁愛好者訪中団」 会員訪中団	2004年から隔年ごとに派遣してきたが日程や航空便調整不備等の関係で本年度は延期となった。	—	—	—	—	—
日本事情に関する理解を深めるための、中国からの訪日団受入に関する事業 ①極真空手訪日団	国際空手道連盟極真会館主催の「カラテ型競技選手権大会」は、本年は開催中止となった。従って、訪日団の派遣がなかった。	—	—	—	—	—
中国語普及に関する事業 ①青山教室初級クラス	都日中主催。全40回 毎週月曜日開催 講師：島村泰子	2016年4月 ～ 2017年3月	青山梅窓院	渋谷区日中役員 1人 スタッフ 1人 事務局	一般市民 18人	452
②青山教室中級クラス	都日中と渋谷区日中の共催。 全40回 毎週火曜日 講師：高立新	2016年4月 ～ 2017年3月	青山梅窓院	渋谷区日中役員 3人 事務局 1人	一般市民 11人	447
③青山教室応用クラス	都日中と渋谷区日中の共催。 全40回 毎週水曜日 講師：李佳樑	2016年4月 ～ 2017年3月	青山梅窓院	渋谷区日中役員 3人 事務局 1人	一般市民 7人	447
④（第34回） 全日本中国語スピーチコンテスト東京大会 （中国大使館後援事業）	弁論の部優勝者は、東京代表として全国大会に出場する。朗読の部は全国大会エントリー課題と都日中独自の課題や参加資格も設け、より広く参加されるよう呼びかけた。傍聴のみの参加者も呼びかけた。審査員は山下輝彦先生（慶大名誉教授）、高木美鳥先生（日中学院専任講師）、李軼豪先生（中国国際放送局東京支局長）の3人。 午前中に、朗読の部、午後に弁論の部を行い、模範朗読、講評、結果発表、表彰式が行われた。	2016年 9月25日	渋谷区リフレッシュ氷川	役員8人 事務局 1人	一般市民 発表者 41人 傍聴者 35人 計 76人	126

⑤ 中国語ワンデーレッスン（春期）	3クラス開講した。基礎 島村泰子先生 許堅先生 初級会話 高立新先生 中級会 李佳樑先生	2017年 3月5日	大田区民センター	役員7人 事務局 1人	一般市民 基礎：13人 初級：12人 中級：10人	103
⑥ 中国語ワンデーレッスン（夏期）	3クラス開講した。基礎 島村泰子先生 許堅先生 初級 高立新先生 中級 李佳樑先生	2016年 9月4日	大田区民センター	役員7人 事務局 1人	一般市民 基礎：11人 初級：14人 中級：11人	105
⑦ 中国留学体験発表会	実施しなかった。					
⑧ 日中友好新春かるた会	「日中友好新春かるた会」として2回目の開催。かるた会終了後、漢詩朗読等の披露が参加者からあり、第2部交流会は金佩華先生の指導で王維の「雑詩」を全員で朗読し、盛況裡に終了した。	2017年 2月12日	渋谷区 リフレッシュ ユ氷川	役員7人 事務局 1人	一般市民 48人	23
在日華僑並びに中国人留学生との交流事業 ① 第3回日中親善ゴルフ大会	第3回日中親善ゴルフ大会を全日本華人華僑総連合会と共催で実施した。荒天の中約40人の参加者あり、途中集中豪雨で中断するも無事に終了。表彰式、懇親会で宇都宮徳一郎会長から「雨降って地固まる日中関係になりすばらしい会でした」と挨拶。さわやかなプレイ後の心地よい和やかな親睦会を参加者一同楽しみ帰路についた。	2016年 10月8日	津久井湖ゴルフクラブ	役員10人	一般市民 10組38人	886
② 春節を祝う会（地区協会主催）への参加	都内、各地区日中友好協会との共催での開催は無かったが各地区の春節の集いに役員・会員の参加を呼びかけた。	1月29日北区 豊島区日中、 2月5日西東京 市日中、 2月11日渋谷 区日中、 2月17日目黒 区日中、3月6 日大田区日中	北区、豊島区、 渋谷区、西東 京市、目黒区 大田区	役員4人 事務局 1人	一般市民・ 在日外国人 500人	—
③ 「大人の社会見学（工場見学）」	本年度は未実施。	—	—	—	—	—

④高尾山ハイク	秋の高尾山で自然を楽しみ、中国の友人と会員らの中国語を通して紅葉深い山登りを楽しんだ。	2016年 11月27日	高尾山	役員2人	一般市民・ 在日外国人 8人	0
⑤健康麻雀を楽しむ会 第2回	千代田区日中、日本健康麻将協会との共催で昨年度に引き続き健康麻雀を楽しむ会を予定したが実施できなかった。	—	—	—	—	—
中国帰国者支援に関する事業 ①中国帰国者研修旅行	満蒙開拓の歴史を訪ねる「長野県阿智村 満蒙開拓平和祈念館」及び残留孤児の帰国に尽力した故 山本慈昭翁の寺院「長岳寺」を訪問した。飯田市日中友好協会のお出迎えと歓迎会が開催され、戦争体験談含め満蒙開拓団の厳しかった話を聞いた。	2016年10月14日～15日	長野県阿智村	役員3人	一般市民 50人	816
②新春餃子パーティー	中国帰国者を対象とした新春手づくり餃子パーティーが行われた。帰国者と協会の協力で餃子はじめ7品の料理が用意され、尾崎常務副会長の乾杯で宴が開始され、帰国者である大海の会などの方々がチャイナドレスと民族衣装をまとうて歌や楽器で熱演を披露して、帰国者との交流を深めた。	2017年1月22日	東京・豊島区	役員10名 事務局 2名	一般市民 100人	80

(2) その他の事業 本年度は実施せず。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額(千円)
寄付された物品の販売 事業収益、	実施せず	年間 イベント時	都内	役員 事務局	0
日中記念 グッズの 販売 事業収益	実施せず	年間 イベント時	都内	役員 事務局	0
ホームページへの 広告掲載 事業収益	実施せず	年間 イベント時	都内	役員 事務局	0